

令和5年度学校評価 計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

Table with 2 columns: 学校名 (基山町立基山小学校) and 1 前年度 評価結果の概要 (Summary of evaluation results from the previous year).

2 学校教育目標 (Educational Goals)
きたえ やりぬき まなびあう
【 夢いっぱい基山っ子! 笑顔であいさつ・笑顔でありがとう 】

3 本年度の重点目標 (Key Objectives for this year)
・基山中校区の小中一貫教育では、引き続き9つの専門部を校内組織と更に関連付ける。これにより、これまでの取組の精査を図るとともに、各専門部の機能強化と専門性をさらに高めていく。
・特別な支援を必要とする児童に対する支援体制や支援の在り方について見直ししながら、指導者及び特別支援学級補助員を含む全職員が児童理解に努め、スキルアップしていく。
・GIGAスクール構想を踏まえ、タブレット端末の充実した活用を目指す。一人一台使用する端末を学校・家庭で有効活用し、児童の学力向上を図る。

Main evaluation table with columns: 重点取組 (Key Objectives), 中間評価 (Intermediate Evaluation), 最終評価 (Final Evaluation), 学校関係者評価 (Stakeholder Evaluation), 主な担当者 (Main Person in Charge).

Continuation of the main evaluation table with columns: 重点取組 (Key Objectives), 中間評価 (Intermediate Evaluation), 最終評価 (Final Evaluation), 学校関係者評価 (Stakeholder Evaluation), 主な担当者 (Main Person in Charge).

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望 (Overall Evaluation and Outlook for the next year)
・特別支援教育について、職員全員で研鑽を積み、個に応じた支援の在り方について意識を高めることができた。今後も、高い専門性をもって指導・支援にあたるように研修の機会を作り、研鑽を積んでいきたい。
・小中一貫教育の充実を図るため、「すみそあじ」の取組などに力を入れたが、「早寝・早起き・朝ご飯」の実践については不十分であった。今後、児童にその重要性を指導するとともに、保護者と連携して、取組の充実を図りたい。
・一人一台端末の効果的な活用と職員のスキルアップを図ることができた。今後は、持ち帰りをした活用や個に応じた学びにおける活用について、取り組んでいきたい。